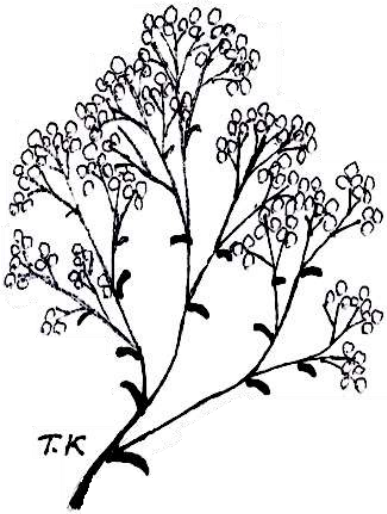
札幌市
緑のセンターだより

NO. 222　平成 29 年 9 月 1 日発行　発行元：（公財）札幌市公園緑化協会　豊平公園緑のセンター

宿根カスミソウ

ナデシコ科　ギプソフィラ属
Gypsophila paniculata L.

カスミソウ属(*Gypsophila* L.)はユーラシア大陸を中心に分布するナデシコ科の草本植物で、約 125 種ありますが、園芸的に利用されるのは、宿根性で地中海沿岸・中央アジアやシベリアにかけて分布する宿根カスミソウ(*G. paniculata* L.)、ほふく性宿根草でヨーロッパアルプス原産のジプソフィラ・レペンス(*G. repens* L.)、耐寒性のある 1 年草で小アジア、コーカサス原産のカスミソウ(*G. elegans* Bieb.)の 3 種です。この中で宿根カスミソウである *G. paniculata* と 1 年草の *G. elegans* の高性種は切り花として利用され、ほふく性の *G. repens* は花壇（ロックガーデン）や鉢植えなどに使われています。



切り花によく使われる品種
'Bristol　Fairy'

国内における切り花の生産額は、キクが全体の 31%と最も多く、次いでユリが 10%、バラ 9%、カーネーション 6%、トルコギキョウ 5%、その他の切り花 38%（平成 23 年農水省調べ）と続きます。宿根カスミソウは切り花の中でも年間を通して需要があり、生産量も多いと思われるのですが、「その他」の切花として扱われているのは意外です。

カスミソウは基本的に長日性植物ですので、夏に開花します。土壌は石灰質の中性土壌を好み、乾燥に強いのですが、蒸れには弱い性質です。庭や鉢で栽培する場合は、水はけの良い肥沃な土で育てると良いでしょう。

切花の生産にあたり、土壌条件などの調整技術は難しくなかったようですが、周年生産をするための日長条件の計画的調整技術が確立されてきたのは、近年になってからのようです。それは 1980 年代に、カスミソウの切花の主要産地であるアメリカ南部で系統的に長日要求の少ない種類、比較的低温に耐える系統の抽出に成功し、その母株を定着させ、栄養繁殖により 2 つの新品種を作出したことによります。このような優良系統株の選抜による周年開花の可能性が示されたことで、我が国でも熊本県を中心に研究を進められ、現在栽培されている宿根カスミソウは 11～12 月定植で 2 月から出荷できるようになりました。なかでもＪＡ熊本がいち早く周年出荷技術を取り入れ、生産額も他の切り花を大きく上回って県内花卉生産の首位を占めるようになったそうです。

北海道でも気候的に適合する作物を模索する中で、宿根カスミソウを北海道大学と農業改良普及センター、行政担当部局などが稲作転換作物として積極的に取り組み、平成 5 年頃から石狩、空知、上川に取り入れた結果、道内での宿根カスミソウの切り花生産数はカーネーションに次ぐ第 2 位となりました(平成 23 年道農務部調べ)。中でも石狩地区の月形町は中心的産地として栽培拡大が進められているそうです。　(T.K)

かすみそう　目立たぬように　生きて来ぬ　　とっこ

＜参考文献＞「園芸植物大事典」小学館、「園芸大辞典」誠文堂、「農業技術体系　花卉編」農文協
「新日本植物図鑑」北隆館、「新花卉」タキイ種苗、「園芸新知識」タキイ種苗、「植物の世界」朝日新聞社

9 月 の 園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00
☆豊平公園　811-9370　月曜以外毎日
（月祝日の場合は受付し、翌平日休み）
☆平岡樹芸センター　883-2891　水曜、土曜
☆百合が原公園　改修工事のため休館
（平成 30 年 1 月下旬頃までの予定）

◆庭植えにした鉢花の鉢上げ

鉢花として作られた株を庭植えにすると、窮屈な鉢から解放された株は予想外なほど旺盛に生長します。耐寒性のある宿根草などはそのまま雪の下にしますが、非耐寒性の種類は鉢に植え戻して室内管理をすることができます。

掘り上げて鉢に植えなおす作業は９月中旬頃がよいでしょう。夏に威勢良く育った株は、鉢上げ時に根や茎を傷めてしまうため、再生が困難となることがあります。しかし、地上部の切り戻しも同時に行なうことで鉢上げによる負担をできるだけ軽くし、その後のスムーズな生育が続けられる方法を考えましょう。

切り戻しは
外芽を残す

種類ごとの鉢上げ例

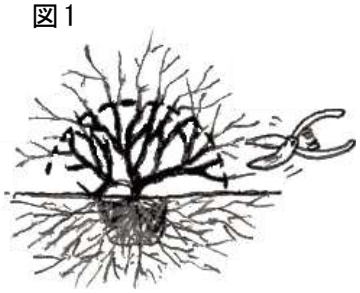
○インパチェンス、ペチュニア（サフィニア）、ベゴニア（四季咲き）、テランセラ、イレシネ、シロタエギク、イポメアなどの草花類では、やや大きめに根を掘り上げ、余分な土や傷んだ根を取り除き、根が入る大きさの鉢に植え込みます。開花中の株でも掘り上げ後は軽い切り戻しや茎の間引き剪定をして地上部を整理し、冬期は翌春の開花を目指して育てていきます。

○フクシア、クチナシ、木立ベゴニア、ゼラニウム、フユサンゴなど木立型のものや小花木類など茎葉が大きく生長した株は、枝元 2～3 節残すくらいの強剪定をします。根も元の根鉢くらいの大きさまで切り詰め、元の鉢の一回りほど大きい鉢に植え込みます。

手順と用土

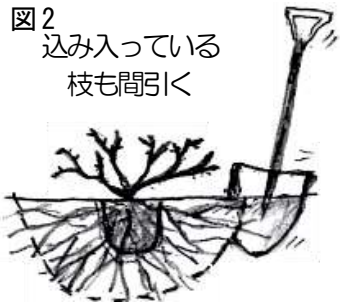
用土はいずれも園芸用培養土か、赤玉土５：腐葉土３：火山礫２の配合土を使うと良いでしょう。

図１



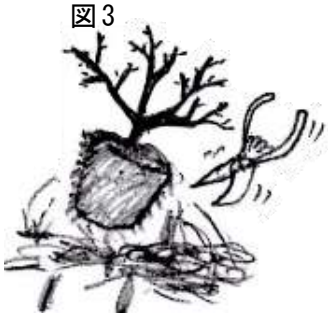
株元２～３節残
して切り戻す

図２
込み入っている
枝も間引く



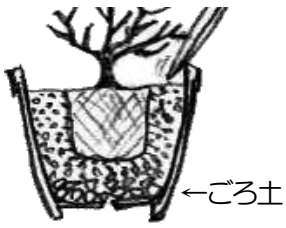
大きめに
掘り上げる

図３



元の根鉢近くまで
根を切り落とす

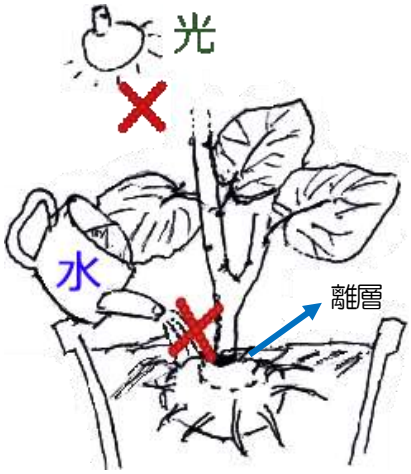
図４
しっかり突き込む



一回り大きめの
鉢に植え込む

（例）：球根ベゴニアの場合

球根ベゴニアはまだ盛んに花を咲かせていますが、球根（塊茎）を翌年も楽しむためには９月中旬までに鉢上げして、塊茎の養生をしなければなりません。塊茎が未熟なまま掘り上げるのでそのままでは、保存中に塊茎が腐敗してしまいます。鉢上げした株は、灌水を控え、夜間は電灯などの明かりに当てないようにして、2～3 週間管理することで、茎葉の養分が十分に塊茎にたまり、塊茎は熟して休眠に入ります。休眠に入る頃には茎葉は飴色に変色して株元に離層ができ、茎葉部は自然に枯死します。塊茎は鉢のままか、取り出してして新聞紙などにくるみ乾燥し過ぎないよう 5～8℃に貯蔵して、翌春、鉢植えや庭植えをします。



豊平公園の樹木たち　6

メタセコイア（アケボノスギ）

Metasequoia glyptostroboides スギ科メタセコイア属

旧緑のセンターの跡地の造成工事が終わり、新しい広場が誕生します。この新しい広場の中心に立つ、メタセコイアのお話です。

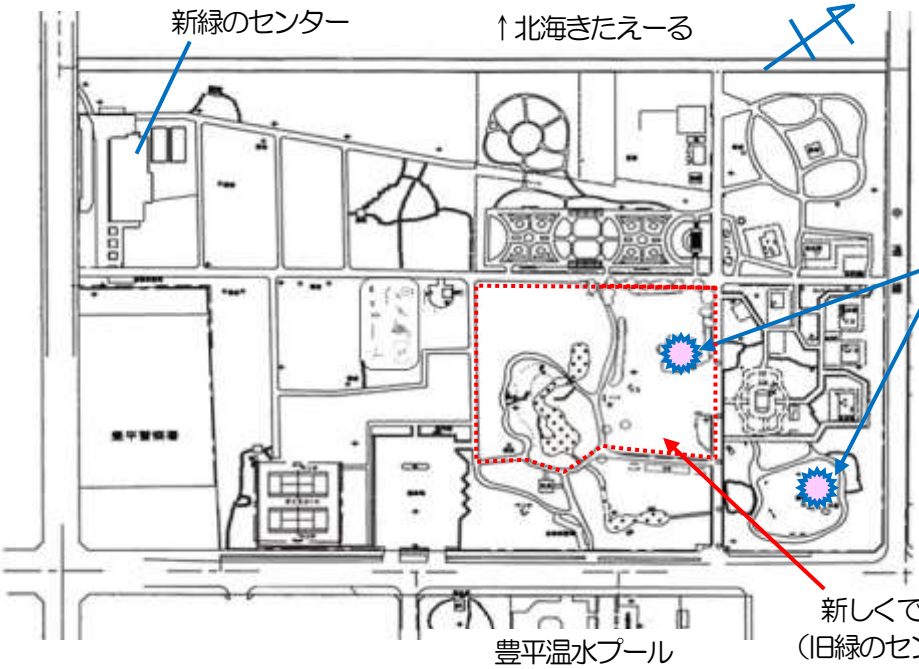
豊平公園の新しい広場に立つ
メタセコイア

メタセコイアは和名でアケボノスギとも呼ばれる樹高 35m にも達する落葉針葉樹です。中国の原生地では川辺や湿地に生えていることから「水杉（スイサ）」と呼んでいたそうです。樹形は円錐形で美しく、秋にはみごとな黄葉を見せた後、小枝ごと落葉します。

メタセコイアは大阪市大の植物学者三木茂博士が 1939（S14）年に和歌山県の第三紀層から、それ以前から知られていた同じスギ科で常緑のセコイアに似た植物の半化石を発見し、調査の結果、セコイアとは異なるものとして「メタセコイア」と命名し、学会に発表しました。メタセコイアは新生代第三期に栄えていた植物で現存する石炭の原材と考えられ、100 万年前に絶滅したとされていました。しかし、1945（S20）年に中国四川省（現在の湖北省）で現存木が発見され、植物学者の胡博士らによってこの木の形質が三木博士の言うメタセコイアに一致することが判明し、現存する「生きた化石」として当時一躍有名になりました。

胡博士は恩師であるアメリカの学者らにも伝え、なかでも古生物学者チェイニー氏はメタセコイアの保護増殖に努めました。1949（S24）年にチェイニー氏から昭和天皇に 1 本の苗木が贈られ、皇居吹上御苑に植えられました。翌年 2 月にアメリカから 100 本の苗木が日本に送られ、まず東大と京大で半分に分け、さらに全国の大学や植物園などに配ったそうです。

1950（S25）年に東京から北海道大学へ 3 本配られ、北大植物園に植えたメタセコイアが北海道では最も古い木になります。豊平公園の旧講義室横にあるメタセコイアは、この時東京の林業試験場本場に 8 本配られた中の 1 本が林業試験場北海道支場宛てに送られたもので、北大植物園のものといわば兄弟です。中国四川省➡カリフォルニア大学➡日本東京大学➡林業試験場本場➡林業試験場北海道支場と送り継がれて、豊平公園の新しい広場のシンボルツリーとしてそびえ立っています。



豊平公園にはメタセコイアはこの２箇所にあります。

新しい広場(旧緑のセンター跡地)の中央付近にそびえている双冠のメタセコイアが北大植物園のものと兄弟と言われており、植えられてから 70 年ほど経っています。

また、針葉樹見本園のメタセコイアは昭和 56 年に見本園が造成されたときに植栽されたものです。

9月～10月の催しのお知らせ

豊平公園　緑のセンター　豊平区豊平5条13丁目　TEL011-811-6568　http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
あけび・籐作品展　～自然からの贈り物～（くらしの中のかごづくり）	9月20日(水)～9月24日(日)		あけびつる工房らせん	入場無料
きのこ展	9月26日(火)～9月27日(水)		藻岩山きのこ観察会	〃
秋のミニ盆栽と山野草展	9月29日(金)～10月1日(日)		札幌草樹会	〃
おもと秋季展	9月29日(金)～10月1日(日)		日本おもと協会北海道支部	〃
セントポーリア展	10月3日(火)～10月9日(月祝)		北海道セントポーリア愛好会	〃
さつき　秋季展	10月6日(金)～10月9日(月祝)		札幌さつき会	〃
盆栽展	10月13日(金)～10月15日(日)		札幌盆栽会	〃
園芸教室・自然教室				
堆肥作り	9月12日(火)	13:30～	8/11(金)～	無料
鉢花・草花・球根類の秋管理	9月13日(水)	〃	〃	〃
きのこの見分け方教室	9月26日(火)	〃	9/12(火)～	〃
果樹の整枝・剪定	10月1日(日)	10:00～、13:30～	〃	100円
縄結びから始める冬囲い	10月4日(水)	13:30～	〃	〃
セントポーリアの育て方	10月7日(土)	〃	〃	無料
冬囲いの仕方（中級編）	10月11日(水)	〃	〃	100円
シリーズ講座				
【盆栽講座】　③秋の盆栽の管理	10月3日(火)	13:30～	9/12(火)～	1,500円
【やさしい宿根草講座】⑥常緑種と冬支度	10月14日(土)	〃	〃	100円
クラフト教室				
あけびのつりかご	9月27日(水)	10:00～	9/12(火)～	2,300円
現代押し花アート体験・ミニ額作り「花リース」	10月3日(火)	〃	〃	2,700円

百合が原公園　北区百合が原公園210　TEL011-772-4722　http://yuri-park.jp/

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
講習会・ガイド				
お散歩ガイド	9月2日～30日,10月7日（毎週土曜日開催）	13:00～	P2駐車場近くのボランティア控室前へ	無料
オリエンテーリング「ダリア」	9月12日(火)～24日（日）	9:00～16:30	直接会場へ	〃
樹木の冬囲い	9月30日(土)	10:00～	9/12(火)～	130円
バラの冬囲い	10月8日(日)	13:30～	〃	〃
ダリアの堀上と貯蔵方法	10月14日(土)	〃	〃	〃

百合が原公園緑のセンターは改修工事のため、6月19日（月）～平成30年1月下旬頃まで休館となります。
休館中は展示会及び緑の相談はお休みさせていただきますが、講習会・ツアー・ガイドにつきましては実施予定です。
詳しくは百合が原公園HPに掲載いたしますので、そちらでご確認ください。
なお、休館中は講習会の受付・お問い合わせの電話番号が変わります（011-772-4722）。

平岡樹芸センター　清田区平岡4条3丁目　TEL 011-883-2891　http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室・自然教室				
庭木の手入れ⑦モミジ類の整枝・剪定	9月10日(日)	10:00～、13:30～	8/11(金)～	300円
庭木の手入れ⑧落葉樹を小さくする	9月17日(日)	〃	9/12(火)～	〃
庭木の手入れ⑨樹木の冬囲い（低木）	9月24日(日)	10:00～	〃	〃
庭木の手入れ⑩樹木の冬囲い（高木）	9月24日(日)	13:30～	〃	〃
果樹の整枝・剪定	10月8日(日)	10:00～、13:30～	〃	〃
イベント				
ひらおか庭園コンサートinみどりーむ	9月9日(土)	11：00～13：50	直接会場へ	無料